

学校行事の中止で行き場を失った野菜たちを学校で配布 (正則学園高等学校・生徒会)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言延長で、予定していた高校1年生によるスキー学校が中止。宿泊予定だったホテルで余ってしまう生徒や教員ら約200名×2泊分の食材を、生徒会が中心となって食品ロス防止を呼び掛け、必要な人へ配布。

- ❑ 生徒会は、日頃より持続可能な開発目標（SDGs）を学校生活に取り入れる活動を行っており、食料の大量廃棄についても問題と認識。
- ❑ 先生から、今回のスキー学校の中止に伴い、大量の食材が廃棄される可能性がある聞き、生徒会で宿泊先の協力を得て野菜などの食材を引き取り、学校で配布するイベントを決意。

スキー学校は令和3年3月8日（月）から2泊3日の予定で行われる予定だったが、緊急事態宣言の延長に伴い、3月5日（金）に急きょ中止が決定。

- ❑ ホテルとの交渉は、先生にもサポートしてもらったが、ほとんどの手配を、生徒たち自らが、わずか3日間で、イベント実施にこぎ着けた。

イベント当日は、「野菜を配る」、「消毒を促す」、「通りで列を整理する」など、8人が役割を分担。



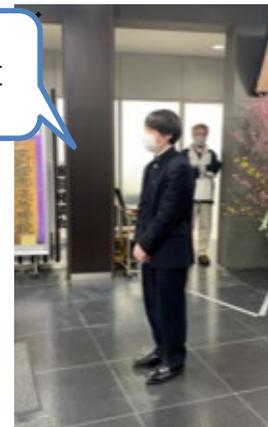
【3月11日（木）イベント当日】

- ❑ 学校には、配布開始前から長蛇の列ができた。
- ❑ 開始に当たり生徒会長が挨拶。



「少しでも、皆様のお役に立てれば」

←ソーシャルディスタンスの配慮・列の整理、手指消毒など、当日の運営も生徒たちで実施。



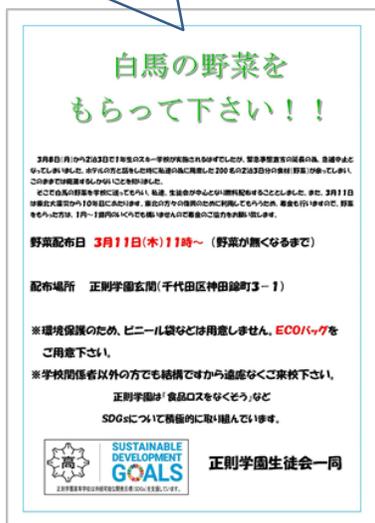
- ❑ 食材を学校のエントランスで配布。開始から50分で終了。



- イベント開催に向けての広報活動
最初は保護者などにSNSで呼び掛け。
配布前日には「白馬の野菜をもらってください！！」と記載したチラシを作成し、学校の周辺で生徒たち自らが配布することにより、多くの人たちに発信。

〈配布チラシ〉

作ったチラシを先生に渡したら、
情報がたくさん追加されていた。



〈同校公式SNSでも情報発信〉



近くの会社員にも是非食材を受け取ってほしいと、お昼休みの時間帯にチラシを配ることを決めた。
学校前は人通りが少ないため、最寄り駅の数か所で、遠い駅は約1km離れたところまで、チラシを配布しに出向いた。

生徒会メンバーの皆さんにお話を伺いました！

- 今回のイベントで、一番大変だったことは？
何よりもチラシの配布。
生徒会メンバー8人が、それぞれ50枚を配布。
チラシを受け取ってもらえないときは、ちょっと凹んだ。
内容について聞かれた際は、丁寧に説明して、活動を理解してもらった。

でも、チラシを配った方が、イベントに来てくれた時はうれしかった。
「来たよ」と声を掛けてくれる方もいて、とても励みになった。



- 今回の活動を通して今後やってみたいことは？
(コロナ禍でどこまでできるかは分かりませんが…)
まずは、身近なところから食品ロスを減らしていきたい！
例えば、
✓ 食品スーパーから廃棄されそうな食品を引き取り、配布イベント
✓ 賞味期限・消費期限の違いを啓発（親も含めて大人が知らないと実感。一方で親から教えてもらったというメンバーも。）
✓ SDGs教育として、近隣の小中学校に出前講座